

# 「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和4年10月21日(金) NO19 文責 <sup>きした</sup>木下 <sup>ふみあき</sup>文秋

## もちろん勉強は大事なことだけど

合唱コンクールが終わりました。各学年素晴らしい合唱でした。朝昼夕と校舎のあちこちから歌声が聞こえていて、心地よい毎日を過ごしていました。分散型の合唱でしたが、私は全学年の歌声を聞くことができるとても幸せでした。そして、やはり最後は3年生の歌声にしびれた日でした。同時に、三股中の合唱の魂は受け継がれているなど感じる事ができました。3年生にとっては行事が終わるたびに進路と向き合う時間が増えていきます。今の時代は、高校に進学する人が90%を超えていますから、高校を選択するにあたりどうしても定期テストや地区のテストが判断基準となり重要になってきます。しかし、勉強ができればそれでいいということでもありません。都城市の池田市長の話です。市長は、都城泉ヶ丘高校野球部OBで九州大学に進学後、大蔵省に入省しその後、研究生として東京大学に出向していたそうですが、東京大学に入学してくる学生は頭は超一流のはずなのに、発言や行動がとても幼稚で、TPOに応じた言動に乏しく、この学生が将来「官僚」として日本の将来を背負うのかと思うと、とても不安だったとお話をされています。確かに政治の世界で日本の将来を左右する立場になる人たちは皆さん高学歴の人ばかりです。しかし現実を見ると「勉強ができる人」と「賢い人」は意味が違うということです。

「勉強ができる人」はいわゆるテストで高得点をとれる学力がある人。「賢い人」は、正しい判断ができて、時と場に応じた言動ができる人。そういう整理でしょうか。東京大学をはじめ超一流大学を出た「勉強ができる人」でも、政治やいろんな世界で不適切な発言をしたり、トラブルを起こしてマスコミで騒がれています。勉強ができればそれでいいということではありません。テストでいい点数を取ると自信につながるし、進路の選択肢も増えてきます。しかし、それに併せて、人としての資質をこれから高めていくことも大事なことです。体育大会、合唱コンクールと大きな行事に全力で取り組む中で、これらの行事を通して結束することの重要さや、人のために何かを頑張ることの素晴らしさにも触れたと思います。中学校では勉学に励み確かな学力を身につけることが一番大事なことです。それと同時に人としてどう成長するかも大事なことです。もうすぐ11月です。勉学に励みながら、大いに身も心も成長してほしいと思います。